

小浦ダムが完成！

水害を防ぎ、水不足の解消に



小浦ダムの概要

形式：重力式コンクリートダム 堤高：28.5m
 堤頂長：98m 総貯水量：40万³m 総事業費60億円
 周回道路：約1.8km

厳原町小浦地区に建設されていた小浦ダムがこのほど完成し、10月26日、竣工記念式典が現地で行われました。このダムの完成により、小浦地区の住民が永年悩まされてきた川の氾濫を未然に防ぎ、また、地区人口の急速な増加による渇水期の深刻な水不足の解消が期待されます。

午前10時より開始された竣工式には、松村市長及び金子知事をはじめ国・県・市の関係者、地元地権者など約50名が出席。記念植樹、テープカットなどが行われたほか、厳原北小学校の児童

記念植樹



ソーラン節を披露する厳原北小学校の児童達

ダムの天端道路の通り初めを行う参加者



55名がソーラン節の演技とエーデルワイスなど2曲を演奏しました。セレモニーの最後には、出席者全員でダム天端道路の通り初めを行い、完成を祝いました。

平成17年度 対馬市戦没者追悼式

今日の繁栄平和の礎となった
 戦没者のご冥福を祈る



対馬市関係の千四百名余りの戦没者の方々を追悼し、永遠の平和への決意を新たにす平成17年度対馬市戦没者追悼式が、10月28日、豊玉総合運動公園体育館で厳かに執り行われました。会場には、市内の各町から遺族や来賓ら400名を超える方が参列し、献花台に花を添えて戦没者の冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

朝鮮通信使「李芸」の功績碑建立される 円通寺境内(峰町佐賀) 対馬韓国先賢顕彰会



室町時代に国王使節として日本へ派遣され、仏教聖典の伝達や両国の文化交流に貢献し、対馬と朝鮮国との「通交貿易」に関する条約の締結に大きな功績を残した通信使「李芸」の功績を記す石碑が、日韓両国の有識者らで組織する対馬韓国先賢顕彰会（日本側会長：永留久恵氏）により峰町佐賀の円通寺境内に建立されました。

11月21日、功績碑の除幕式が行われ、日韓両国の関係者およそ140名が参加。改めて李芸の功績を讃え、両国の今後の友好を誓いました。

受け継がれる歴史

創立100周年を祝う！ 対馬高校

長崎県立対馬高等学校の創立100周年を祝う記念式展が、11月5日同校で開催されました。式典会場の体育館には、米倉源藏校長をはじめ学校関係者、記念行事実行委員会、長崎県知事、来賓等と共に同窓生も多数集まり、100年の歴史に思いを馳せました。



同校は、明治38年に上下県郡総町村立対馬中学校として開校。その後、明治41年に設立された私立対馬女学校を前身とする県立対馬女子高等学校

その後、在校生がヒット曲の「島人ぬ宝」(しまんちゆぬたから)を記念合唱。対馬への愛情を歌詞に込めて歌う在校生達の心のこもった歌声に、多くの列席者が感動していました。



同窓生の皆さん



阿比留明夫会長



米倉源藏校長

校と昭和23年に統合し誕生しました。現在までに2万1千名を超える卒業生を送り出しています。

午前9時50分より始まった式典では、校長式辞に続き、県知事及び実行委員会の阿比留明夫会長が挨拶を行いました。挨拶の中で阿比留会長は「対馬生という誇りを一生胸に秘めて、個性豊かな人物に成長してください」と在校生を激励しました。

対馬高校の新たなシンボルに！ 創立100周年記念像が贈られる



対馬高校の玄関前に、このほど高さ約2・3m(台座を含めると約4・5m)の精悍な男性像がお目見えしました。この像は、創立百周年記念事業実行委員会より、記念事業の一環として贈られたものです。

像の制作者は日展の嘱託作家である小代猛さん(64歳)で、昭和40年から5年間、加志々中学校などで教壇に立つなど対馬とのゆかりの深い方です。

約1年8ヶ月の制作期間を経て完成しました。

この像は、大地に根ざして成長してゆく若者をイメージしたもので、右手には校歌の歌詞である「高き理想を」を表現し、握りしめた拳は力強さ、意志、決意を表現しています。

生徒、職員をはじめ同窓会代表者、PTA役員など総勢100名が見守る中、10月27日に行われた除幕式では、実行委員会の阿比留会長が「この像と心をつなぎあつて素晴らしい学生生活を送って下さい」と挨拶。生徒を代表して、生徒会長の古藤恵利さんは、「素晴らしい記念像を作っていただき、在校生として本当にうれしく思います。私たち対高生もこの像のように、力強く、堂々と生きていきたいと思えます」と感謝を述べました。



感謝の言葉を述べる
生徒会長の古藤恵利さん



生徒会より花束を贈られる
記念像制作者の小代さん